

イトカケガイ科 殻長 2cm。3本の黄褐色帯をめぐらす。分布は相模湾以南。この仲間はイソギンチャク類（腔腸動物）の体表に棲む。

### ゴイサギガイ *Macoma tokyoensis* (Makiyama) (目八) 五位鷺貝

ニッコウガイ科 殻長 5cm。殻は卵型でふくらみは弱い。殻は白色で光沢がある。分布は北海道南西部以南。

広辞苑によると五位とは、①位階の五番目のもの。すなわち正五位または従五位。律令制では五位以上は格段に優遇された。②ゴイサギ（鳥）の略。



### コウロエンカワヒバリガイ *Xenostrobus securis* (Lamarck)



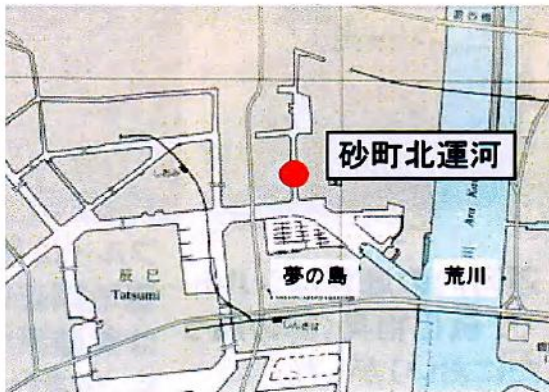
イガイ科 殻長 4cm。殻皮は黒紫色で光沢がある。オーストラリア・ニュージーランド原産の輸入種。1972年岡山県の児島湖で最初に記録された。1970年代に日本に定着。1975年頃から京浜運河周辺に生息。大型記録は2001年採捕の殻長 5.1cm（青野良平）。

名前の由来は地名：兵庫県西宮市香露園浜（瀬戸内海沿岸）。



京浜運河(青野良平)

1985年東京都中央区浜離宮内の池に生息(福田宏 1995年)。石や人工構築物に足糸で付着。また、ムラサキイガイ群集中に生息。寿命は1年ほど、水質汚濁に強い。



コウロエンカワヒバリガイの運河部生息事例 (2011年8月 東京都環境局)

コケガラス *Modiolus metcalfei* (Hanley)



イガイ科 殻長5cm。殻表は光沢が強い赤褐色の殻皮で覆われる。分布は四国以南。放流アサリに混入したと思える。